

1 受賞団体・個人の名称

ポークランドグループ (秋田県小坂町)

(問い合わせ先)

0186-29-4000

(取組経過)

平成7年設立。(有)ポークランド、(有)十和田湖高原ファーム、(有)ファームランド(以上養豚農場)、(有)小坂クリーンセンター(廃棄物処理)、(株)まんまランド(食肉加工)、(株)あぐりランド(農産物生産)の6社からなる生産者グループ。社員131名、平均年齢34歳

(受賞時の経営内容)

養豚 出荷頭数 年間約12万頭 農産物生産 大豆、菜種等 27.8ha



2 生産面の取組

①食の安全

・食の安全・安心の確保に高い意識を持ち、「生産履歴公表豚肉のJAS規格」の取得や、「ICタグを導入した豚の個体管理システム」運用、及び「合成抗菌剤・抗生物質の無添加の飼料」の使用に取り組む。

②環境保全と資源循環

・「環境ISO 14001」の認証取得により、周辺環境に配慮した養豚経営を実現。
・BMW技術の効率的な活用により、排出された糞尿から製造された堆肥および生物活性水は、地元の農産物に還元され、農薬・化学肥料を通常の5割以下に抑えた特別栽培農産物「エコにこかづの」の生産拡大に貢献。
・新たな農場では、バイオベット方式(発酵床)と動物福祉(アニマルウェルフェア)に基づく多群飼育(400頭)を導入し、豚に過ごしやすい環境を整備。

③地域で生産された飼料用米の活用

・地域で生産された飼料用米の利活用を目指し、飼料用米保管庫及び飼料加工供給施設を建設。農家から直接農場へ搬入し、豚に与える実証実験を実施。



3 経営面の取組

○消費者への直接販売と6次産業化

- ・食の安全や環境への配慮などグループの取組が消費者や小売から高い信頼を獲得し、首都圏の生協と産直協定を締結、産直率90%を超える需要となっている。
- ・平成20年には、地元で直売所を設置したほか、平成23年には、加工・販売を目的とした新たな施設「まんまランド」を開設し、6次産業化の体制を整備。

4 取組の成果

①養豚ブランドの確立

・構成員がほとんど農外からの参入でありながら、現在145名の雇用を確保し、約15年間で国内最大規模のSPF豚生産農場に発展させ、「十和田湖高原ポーク桃豚」のブランドを確立。

②地域農業との連携

・堆肥および生物活性水の地元農産物への還元により、地域の資源循環と環境保全型農業を牽引するほか、地域で生産された飼料用米を豚へ給与し、自給率の向上と、休耕田の解消・地域活性化等、地域への貢献を図っている。

5 地域社会への貢献

①養豚を中心とした地域活性化

・地元の雇用拡大など、養豚中心とした地域活性化が確立されつつある。

②耕作放棄地・遊休農地等の利活用

・平成20年から耕作放棄地を借り入れ、有機農業の試験栽培を実施。
・平成23年には、(株)あぐりランドを立ち上げ、地元集落の耕作放棄地30haを借り入れる等、地域の耕作放棄地解消に取り組む。

③地域の食育・環境教育への支援と観光資源の提供

・地元小坂町と連携し、「食と農の祭典」等、町の各種行事に積極的に参加協力し、地域資源活用による環境保全や食育について啓発活動を実施。
・加工施設である(株)まんまランドでは、「手作り体験工房」を設置し、食育を推進すると共に、地域の観光施設としても活用されている。(まんまランド0186-29-2929)

